

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))
「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究」

分担研究報告書(令和2年度)

ICD-11 準拠の新たな死因简单分類の構築に関する研究

研究分担者 滝澤 雅美 国際医療福祉大学

研究代表者 小川俊夫 摂南大学農学部食品栄養学科公衆衛生学教室

研究要旨

わが国の公的統計のうち、死因統計には ICD-10 準拠の「死因简单分類」が用いられているが、ICD-11 のわが国での国内適用に伴い、統計情報の継続性を維持しつつ ICD-11 に基づいた新たな分類を構築する必要がある。本研究は、ICD-11 適用がわが国の公的統計に与える影響分析の一環として、現行の「死因简单分類」に基づき ICD-11 準拠の「新・死因简单分類案」の作成を試行し、新たな分類の基本概念や課題を整理することを目的として実施した。現行の死因简单分類の各項目について ICD-10 と ICD-11 の章と疾病を比較すると、その約 8 割は章と疾病が一致しており、現行の死因简单分類の構造をそのまま用いることができると考えられた。一方で、ICD-11 で新たに追加された章や疾病概念の変更により配置が変更になる項目があり、そのため「新・死因简单分類案」では従来とは集計値が異なる項目が存在すると考えられる。また、新生物やその他又は詳細不明コードの分類など、分類体系が大きく変更された項目については、統計情報の継続性の観点から、今後適切な分類の構築に向けてより詳細な検討が必要であることが示唆された。

研究分担者

今村知明(奈良県立医科大学)

今井 健(東京大学)

小松雅代(大阪大学)

協力研究者

高橋 幸恵(国際医療福祉大学)

坂本 幸平(国際医療福祉大学)

ICD-11 は、2007 年に WHO と専門家による改訂作業が開始され、2018 年 6 月に公表、2019 年 5 月の世界保健総会(World Health Assembly: WHA)にて承認され、わが国をはじめ各国では ICD-11 導入に向けた準備が進められている。

現在、わが国の死因統計に用いられている死因分類表は、人口動態統計では死因简单分類と呼ばれている。死因简单分類は、わが国の死因構造を全体的に概観することを目的とし、ICD-10 準拠の死因基本分類表をもとに、WHO の死亡製表用リストを参考にして作成された分類表である¹⁾。死因简单分類には 5 桁コードが付与されており、最初の 2 桁は ICD-10 章、3 桁目はいくつかの項目を統合した中間分類、最後の 2 桁は整理番号となっており、本研究では、それぞれ大分類、中分類、小分類と呼ぶこ

A. 研究目的

わが国の公的統計のうち、死因統計や患者調査等には疾病及び関連保健問題の国際統計分類(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems: ICD)の第 10 版である ICD-10 が用いられている。ICD-9 までは約 10 年ごとに改訂されていたが、ICD-10 は約 30 年改訂されていなかった。

ととする。

死因简单分類に収載された分類項目は、死亡数が一定数以上認められるもの、死亡数は少ないが国民、研究者等にとって関心の高いものが選定¹⁾されている、また、これまでとの連続性等も考慮し、わが国における ICD-9 までの死因简单分類と可能な限りの整合性を図って作成されている。

ICD-11 のわが国への適用に伴い、現行の死因简单分類を ICD-11 の概念や構造に則した分類に改訂する必要があると考えられる。特に、新たな死因简单分類は、現行の分類からの連続性を考慮し、また ICD-11 の概念を取り込んで国際比較などにも耐えうる分類にする必要がある。

本研究は、新たな死因简单分類案の作成に向けて現行の死因简单分類と ICD-10、ICD-11 の構造を比較したうえで、現行の死因简单分類をベースに、ICD-11 の構造を取り入れた新たな死因简单分類の構築を目的として実施した。本研究において、新たな死因简单分類の作成に向けた考え方や課題を整理し、わが国に適した死因分類について議論するための基礎資料を作成することも目的である。

B. 研究方法

ICD-10 から作成された現行の死因简单分類をもとに、ICD-11 の分類概念を取り入れた新たな死因简单分類案(以下、新・死因简单分類案)の作成を、以下の手順で試みた。

(1) 死因简单分類への ICD-11 章及びコード付加

現行の死因简单分類の項目ごとに、ICD-11 の章とコードを付加した。具体的には、死因简单分類の各項目の ICD-10 コードを用いて、ICD-11 MMS (ICD-11 for Mortality and Morbidity Statistics) の該当する ICD-11 章とコードを検索し、死因分類表に付加した。

(2) 新・死因简单分類案の作成

上記で作成した表を用いて、ICD-11 の分類構造に沿った「新・死因简单分類案」の作成を試行した。新・死因简单分類案の作成にあたり、ICD-11 で新規追加された章や、分類の概念が変更された章や項目については、個別に検討を実施した。

(倫理面への配慮)

本研究においては、倫理面への配慮は必要としない。

C. 研究結果

(1) 死因简单分類への ICD-11 章及びコード付加

死因简单分類の各項目に記載されている ICD-10 コード一覧と ICD-11 MMS ブラウザを用いて、死因分類表に ICD-11 の章とコードを付加した(参考資料 1)。

(2) 新・死因简单分類案の作成

ICD-11 章とコードを付加した死因简单分類一覧を用いて、ICD-11 の構造に沿って並べ替え、新・死因简单分類案の作成を試行した(参考資料 2)。

新・死因简单分類案の作成にあたり、死因简单分類の項目ごとに、ICD-10 と ICD-11 の章と疾病を比較した結果、死因简单分類の項目のうち 8 割程度は ICD-10 と 11 の章と疾病の構成が全く同じであることが明らかになった。これらの項目は、現行の死因简单分類のまま新・死因简单分類に移行可能と判断した。

一方で、死因简单分類の項目によっては ICD-10 と ICD-11 との比較により、章が変更になった項目や、章の中で構造や順序が変更になったものも見られたことから、死因简单分類の大分類、中分類、小分類それぞれで、新旧の分類で同じ名称を用いたとしても、その内容が異なる項目があることが示唆された。

新旧の死因简单分類で内容が異なる可能性のある項目は、1) ICD-10 と ICD-11 で異なる章に記

載された項目、2) ICD-10 と ICD-11 で章の構造が異なる項目、3) ICD-11 で新規追加あるいは削除された項目、に区分して個別に検討した。

1) ICD-10 と ICD-11 で異なる章に記載された項目

ICD-11 改訂により、ICD-10 には存在しない章が新たに追加されたが、そのうち第4章「免疫系の疾患」、第7章「睡眠・覚醒の障害」、第17章「性保健健康関連の病態」の3章は、新・死因簡単分類に追加することとした。この3つの章の分類を確認すると、ICD-10 の複数の章から分類が移動されていた(表1)。

表1 ICD-11 で追加された章

ICD-11 で新規追加された章	ICD-10 の章と項目
第4章「免疫系の疾患」	第3章「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」好中球減少症、サルコイドーシス 第13章「筋骨格計及び結合組織の疾患」全身性エリテマトーデス 第19章「損傷、中毒及びその他の外因の影響」
第7章「睡眠・覚醒の障害」	第4章「内分泌、栄養及び代謝疾患」 第5章「精神及び行動の障害」 第6章「神経系の疾患」
17章「性保健健康関連の病態」	第5章「精神及び行動の障害」 第14章「腎尿路生殖器系の疾患」

ICD-11 で新規に追加された章に移動した項目がある影響で、死因簡単分類の大分類、中分類でその内容が変化し得る可能性がある項目が見られた。具体的には、大分類では「感染症又は寄生虫症」「新生物」「神経系の疾患」「循環器系の疾患」などであり、中分類では「細菌性髄膜炎」、「重症急性呼吸器症候群[SARS]」、「インフルエンザ」、「リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除く悪性新生物」などと推察された。

また、ICD-11 において、疾病概念の変化などにより、項目自体が異なる章への移動した項目も見られた。具体的には、重症急性呼吸器症候群[SARS]、インフルエンザ、脳血管疾患、脳内出血、

くも膜下出血、脳虚血性脳卒中、その他の脳血管疾患などであった(表2)。

表2 ICD-11 で章をまたいだ移動の見られた死因簡単分類の項目

	ICD-10	ICD-11
重症急性呼吸器症候群[SARS]	第22章「特殊目的用コード」	第1章「感染症又は寄生虫症」
インフルエンザ	第10章「呼吸器の疾患」	第1章「感染症又は寄生虫症」
脳血管疾患、脳内出血	第9章「循環器系の疾患」	第8章「神経系の疾患」
くも膜下出血	第9章「循環器系の疾患」	第8章「神経系の疾患」
脳虚血性脳卒中	第9章「循環器系の疾患」	第8章「神経系の疾患」
その他の脳血管疾患	第9章「循環器系の疾患」	第8章「神経系の疾患」
細菌性髄膜炎	第6章「神経系の疾患」	第1章「感染症又は寄生虫症」

2) ICD-10 と ICD-11 で章の構造が異なる項目

ICD-10 と ICD-11 で章の構造が異なるものとして、新生物が挙げられる。ICD-10 では「悪性新生物」「上皮内新生物」「良性の新生物」「性状不詳又は不明の新生物」の順に分類されていたが、ICD-11 では「脳又は中枢神経系の新生物」、「造血組織又はリンパ組織の新生物」に区分されたあとに「リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く悪性新生物」「リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く上皮内新生物」「リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く良性新生物」等に分類されている。このため、新旧の死因簡単分類でも、この新生物の分類体系の違いを反映させる必要があると推察され、現在検討中である。

同様に、慢性リウマチ性心疾患及び慢性非リウマチ性心疾患も、ICD-10 と ICD-11 では構造が異なり、ICD-10 では「慢性リウマチ性心疾患」は I05～I09、「慢性非リウマチ性心疾患」は I34～I38 と独立した分類として存在しているが、ICD-11 では「心臓弁膜症」内にリウマチ性の心疾患と非リウマチ性の心疾患が分類されている。

「その他又は詳細不明コード」の分類についても、ICD-10 と ICD-11 では異なった考え方が用いられているものが見られた。具体的には、「血液又は造血器の疾患」の「貧血」で、ICD-11 の「貧血または他の赤血球疾患」に、「栄養性又は代謝性貧血」「溶血性貧血」「サラセミア」「多血症」等が含まれているが、ICD-10 では含まれない。また、ICD-11 の「その他の明示された貧血及び赤血球疾患」と「貧血又はその他の赤血球疾患、詳細不明」には赤血球疾患が含まれるが、ICD-10 では含まれない。

同様に「消化器系の疾患」の「肝硬変」についても、ICD-11 では「その他の明示された肝線維症又は肝硬変」と「肝線維症または肝硬変、詳細不明」に肝線維症が含まれたが、ICD-10 では含まれない。

新・死因簡単分類案では、これらの項目については ICD-11 の構造に則した新たな項目の案を提示した(参考資料2)。これらの項目については、分類構造の視点から更なる検討が必要であることに加え、新旧の死因簡単分類でのデータ収集の際に異なった結果をもたらす可能性があるため、その影響については今後より詳細に検討が必要である。

3) ICD-11 で新規追加あるいは削除された項目

ICD-10 では存在していたが ICD-11 では削除された項目があることが明らかになった。例えば、「高血圧性心腎疾患」は ICD-10 では I13 とコードが付与されていたが、ICD-11 では「高血圧性心疾患」あるいは「高血圧性腎疾患」のみである。なお死因簡単分類では、「高血圧性腎疾患」は「その他の高血圧性疾患」に含まれていたため、新・死因簡単分類案では「高血圧性心疾患」と「その他の高血圧性疾患」の分類とした。このような項目についても、今後より詳細な検討が必要である。

D. 考察

現行の死因簡単分類の各項目について ICD-10 と ICD-11 の章と疾病を比較すると、その約 8 割

は章と疾病が一致しており、現行の死因簡単分類の構造をそのまま用いることができると考えられた。一方で、ICD-11 で新たに追加された章や疾病概念の変更により配置が変更された項目があり、そのため「新・死因簡単分類案」では従来とは集計値が異なると思われる項目が存在する。また、新生物やその他又は詳細不明コードの分類など、分類体系が大きく変更された項目については、統計情報の継続性の観点から、今後適切な分類の構築に向けてより詳細な検討が必要であることが示唆された。

特に、がんはわが国の死因第 1 位であるものの ICD-10 と ICD-11 では分類体系が異なっていることから、統計の継続性の観点から詳細な検討が必要と考えられる。同様に、「慢性リウマチ性心疾患」及び「慢性非リウマチ性心疾患」や肝硬変の「その他の明示された肝線維症又は肝硬変」と「肝線維症または肝硬変、詳細不明」なども検討が必要である。

また、現行の死因簡単分類にはないものの、現状を踏まえた新たな項目の追加についても検討が必要である。例えば、COVID-19 による死亡は国際的に見ても重要であり、本研究で作成した新・死因簡単分類案には追加した。同様に、例えば自然災害や熱中症などによる死因の把握に必要な疾患の新・死因簡単分類案への追加についても、今後検討が必要と考えられる。

本研究では、ICD-10 と ICD-11 の構造の比較により新・死因簡単分類案を作成したが、実際の死因統計のデータを用いた分析を行うことで、その実用性や課題がより詳細に明らかになると考えられる。今後、死亡票および死亡小票のデータを用いた分析を実施する予定であり、その結果を踏まえてわが国の現状に適した新たな死因簡単分類の作成を実現したい。

E. 結論

本研究では、ICD-10 と ICD-11 の構造を比較することで、ICD-11 準拠の新・死因簡単分類案の作成を試行し、わが国の死因統計における ICD-11 導

入の課題を明らかにした。今後は、実際の死亡票、死亡小票データを用いて新・死因簡単分類案の実用性について検討する予定である。本研究の成果は、わが国に適した死因統計票の作成について考察するための基礎資料として、幅広く情報発信を行うなど活用したい。

9B%A0%E5%88%86%E9%A1%9E%E8%A1%A8
&layout=dataset&toukei=00450011&stat_in-
fid=000031982732&metadata=1&data=1

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

- 1.論文発表（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）
 - ・小川俊夫・今井健・滝澤雅美ら. ICD-11 国内適用に向けた日本語化の検討.40（Nov.）:328-331 .2020
2. 学会発表
 - ・小川俊夫・今井健・滝澤雅美ら. ICD-11 国内適用に向けた日本語化の検討.第 40 回医療情報学連合大会. アクトシティ浜松.静岡県浜松市.2020.11.20.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

なし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

引用文献

- 1) e-Stat 政府統計の総合窓口.人口動態調査/人口動態統計/確定数/分類表.1/死因分類の解説.
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&query=%E6%AD%BB%E5%>

<参考資料1 死因簡単分類と ICD-11 章・コード一覧>

死因簡単分類コード	分類名	ICD-10 章	死因基本分類コード(ICD-10)	ICD-11 章	ICD-11コード	ICD-11コードとの対応概要
01000	感染症及び寄生虫症	1	A00~B99	1	1A00~1H0Z	
01100	腸管感染症	1	A00~A09	1	1A00~1A40.Z	
01200	結核	1	A15~A19	1	1B10~1B1Z	
01201	呼吸器結核	1	A15	1	1B10	
01202	その他の結核	1	A17~A19	1	1B11~1B1Z	
01300	敗血症	1	A40~A41	1	1G40, 1G41	
01400	ウイルス性肝炎	1	B15~B19	1	1E50.0~1E5Z	
01401	B型肝炎ウイルス性肝炎	1	B16~B17.0, B18.0~B18.1	1	1E50.1, 1E51.0	
01402	C型肝炎ウイルス性肝炎	1	B17.1, B18.2	1	1E50.2, 1E51.1	
01403	その他のウイルス性肝炎	1	B15~B19の残り	1	1E50~1E5Zの残り	
01500	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)病	1	B20~B24	1	1C60~1C6Z	
01600	その他の感染症及び寄生虫症	1	A00~B99の残り	1	1A00~1H0Zの残り	
02000	新生物<腫瘍>	2	C00~D48	2	2A00~2F9Z	
02100	悪性新生物<腫瘍>	2	C00~C96	2	-	
02101	口腔、口腔及び咽喉の悪性新生物<腫瘍>	2	C00~C14	2	2B60~2B6Z	
02102	食道の悪性新生物<腫瘍>	2	C15	2	2B70, 2B71	
02103	胃の悪性新生物<腫瘍>	2	C16	2	2B72	
02104	結腸の悪性新生物<腫瘍>	2	C18	2	2B90	
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	2	C19~C20	2	2B91, 2B92	
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	2	C22	2	2C12	
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	2	C23~C24	2	2C13~2C18	
02108	膵の悪性新生物<腫瘍>	2	C25	2	2C10	
02109	喉頭の悪性新生物<腫瘍>	2	C32	2	2C23	
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2	C33~C34	2	2C24~2C25	
02111	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	2	C43~C44	2	2C30~2C3Z	
02112	乳房の悪性新生物<腫瘍>	2	C50	2	2C60	
02113	子宮の悪性新生物<腫瘍>	2	C53~C55	2	2C76~2C78	
02114	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	2	C56	2	2C73	
02115	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	2	C61	2	2C82	
02116	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	2	C67	2	2C84	
02117	中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	2	C70~C72, C75.1~C75.3	2	2A00.00~2A00.11, 2A00.20, 2A00.21, 2A00.3~2A00.5, 2A01.00, 2A02.00~2A02.12	
02118	悪性リンパ腫	2	C81~C86	2	2A60.5, 2A80.0~2A81.Z, 2A85.0~2A8Z, 2A90.6~2A90.C, 2B00~2B2Z, 2B30.0~2B30.Z, 2B33.5	
02119	白血病	2	C91~C95	2	2A20.0, 2A21.00~2A21.0Z, 2A21.2, 2A40~2A42.Z, 2A44~2A4Z, 2A60.0~2A60.3Z, 2A60.41, 2A60.Y, 2A60.Z, 2A61, 2A70.0~2A7Z, 2A82.00~2A82.Z, 2A90.0~2A90.5, 2B33.0~2B33.4Z	
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	2	C88~C90, C96	2	2A50~2A5Z, 2A83.1~2A83.Z, 2A84.0~2A84.Z, 2B31, 2B33.Y	
02121	その他の悪性新生物<腫瘍>	2	C00~C96の残り	2	2B50~2D3Zの残り	
02200	その他の新生物<腫瘍>	2	D00~D48	2	2A00.1Y, 2A00.1Z, 2A00.2Z, 2A00.2Y, 2A00.2Z, 2A01.0Y, 2A01.0Z, 2A01.1, 2A01.2, 2A02.1Y, 2A02.1Z, 2A02.2, 2A02.3, 2A02.4, 2A0Z, 2A20.1~2A20.Z, 2A21.10~2A21.Y, 2A21.3~2A3Z, 2A43, 2A60.40, 2A60.4Y, 2A60.4Z, 2A83.0, 2B32, 2B3Z	
02201	中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	2	D32~D33, D35.2~D35.4, D42~D43, D44.3~D44.5	2	2A00.1Y, 2A00.1Z, 2A00.2Z, 2A00.2Y, 2A00.2Z, 2A01.0Y, 2A01.0Z, 2A01.1, 2A01.2, 2A02.1Y, 2A02.1Z, 2A02.2, 2A02.3, 2A02.4, 2A0Z	
02202	中枢神経系を除くその他の新生物<腫瘍>	2	D00~D48の残り	2	2E60~2F9Z, 2A20.1~2A20.Z, 2A21.10~2A21.Y, 2A21.3~2A3Z, 2A43, 2A60.40, 2A60.4Y, 2A60.4Z, 2A83.0, 2B32, 2B3Z	
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	D50~D89	3, 4	3A00~3C0Z, 4A00~4B4Z	・貧血のその他又は詳細不明コードの分類は要検討
03100	貧血	3	D50~D64	3	3A00~3A7Z, 3A9Y, 3A9Z	
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	D65~D89	3	3A91~3C0Z, 4A00~4B4Z	
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	4	E00~E88	5	5A00~5D46	
04100	糖尿病	4	E10~E14	5	5A10~5A2Y	
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4	E00~E88の残り	5	5A00~5D46の残り	
05000	精神及び行動の障害	5	F01~F99	6	6A00~6E8Z	
05100	血管性及び詳細不明の認知症	5	F01~F03	6	6D80~6E0Z	
05200	その他の精神及び行動の障害	5	F04~F99の残り	6	6A00~6E8Zの残り	
06000	神経系の疾患	6	G00~G98	9	8A00~8E7Z	
06100	髄膜炎	6	G00~G03	8, 9	8E40~8E40.Z	・髄膜炎のうち細菌性髄膜炎は感染症に移動
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	6	G12	8	8B60, 8B61	
06300	パーキンソン病	6	G20	8	8A00	
06400	アルツハイマー病	6	G30	8	8A20	
06500	その他の神経系の疾患	6	G00~G98の残り	8	8A00~8E7Zの残り	
07000	眼及び付属器の疾患	7	H00~H57	9	9A00~9E1Z	
08000	耳及び乳突突起の疾患	8	H60~H93	10	1A00~1AC0Z	
09000	循環器系の疾患	9	I00~I99	11	1A00~1B0Z	
09100	高血圧性疾患	9	I10~I15	11	1A00~1BA04	
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	9	I11, I13	11	1BA01	
09102	その他の高血圧性疾患	9	I10, I12, I15	11	1BA00, 1BA02, 1BA03, 1BA04	
09200	心疾患(高血圧性を除く)	9	I01~I02.0, I05~I09, I20~I25, I37, I39~I51	11	1BA40~1BD1Z	・ICD-10のI13高血圧性心腎疾患のコードがICD-11でなくなった。
09201	慢性リウマチ性心疾患	9	I05~I09	11	1BB21, 1BB60.0, 1BB61.0, 1BB62.0, 1BB63.0, 1BB70.0, 1BB71.0, 1BB72.0, 1BB80.0, 1BB81.0, 1BB82.0, 1BB90.0, 1BB91.0, 1BB92.0, 1BC20.0~1BC20.Z	・慢性リウマチ性心疾患及び慢性非リウマチ性心疾患は心臓弁膜症内に移動。
09202	急性心筋梗塞	9	I21~I22	11	1BA41~1BA42.Z	・「その他の心疾患」の急性リウマチ熱(I01.~I02.~)は1章へ移動。
09203	その他の虚血性心疾患	9	I20, I24~I25	11	1BA40, 1BA43, 1BA4Z, 1BA50~1BA5Z	・ICD-11で心筋症内に糖尿病性心筋症(1C43.7)が新設されている。
09204	慢性非リウマチ性心臓疾患	9	I34~I38	11	1BB60.1, 1BB62.Y, ., 1BB63.1, 1BB70.1, 1BB71.Y, 1BB72.1, 1BB80.Y, 1BB81.Y, 1BB82.Y, 1BB90.Y, 1BB91.Y, 1BB92.1	・心停止の原因はコードがないが、146心停止がICD-11では第21章へ移動している(MC82)。
09205	心筋症	9	I42	11	1BC43	
09206	不整脈及び伝導障害	9	I44~I49	11	1BC60~1BC90, 1BC9Y, 1BC9Z	
09207	心不全	9	I50	11	1BD10~1BD1Z	
09208	その他の心疾患	9	I01~I02.0, I27, I30~I33, I40, I51	11	1BA40~1BD1Zの残り	
09300	脳血管疾患	9	I60~I89	8	8B00~8B2Z	
09301	くも膜下出血	9	I60, I69.0	8	8B01, 8B25.2	
09302	脳内出血	9	I61, I69.1	8	8B00, 8B25.1	
09303	脳梗塞	9	I63, I69.3	8	8B11, 8B25.0	
09304	その他の脳血管疾患	9	I60~I69の残り	8	8B00~8B2Zの残り	
09400	大動脈瘤及び解離	9	I71	11	1BD50	
09500	その他の循環器系の疾患	9	I00~I99の残り	11	1BA00~1B0Zの残り	
10000	呼吸器系の疾患	10	J00~J98	12	1CA00~1CB7Z	
10100	インフルエンザ	10	J09~J11	1	1E30~1E3Z	・インフルエンザは1章に移動。
10200	肺炎	10	J12~J18	12	1CA40	・インフルエンザ菌による髄膜炎(G00.0)は、ICD-11で1章のインフルエンザの分類ではなく、細菌性髄膜炎の分類(1D01.00)にあり。
10300	急性気管支炎	10	J20	12	1CA42	・インフルエンザ菌による肺炎(J14)は、肺炎の分類(CA00~CB7Z)の残り(CA71, CB03, CB04.31, CB05.0, CB06を除く)であり変更なし。
10400	慢性閉塞性肺疾患	10	J41~J44	12	1CA22	
10500	喘息	10	J45~J46	12	1CA23	
10600	その他の呼吸器系の疾患	10	J00~J98の残り	12	1CA00~1CB7Zの残り	
10601	細菌性肺炎	10	J69	12	1CA71	
10602	間質性肺炎	10	J84	12	1CB03, 1CB04.31, 1CB05.0, 1CB06	
10603	その他の呼吸器系の疾患(10601及び10602を除く)	10	J00~J98の残り(J69, J84を除く)	12	1CA00~1CB7Zの残り(CA71, CB03, CB04.31, CB05.0, CB06を除く)	

死因簡単分類コード	分類名	ICD-10章	死因基本分類コード(ICD-10)	ICD-11章	ICD-11コード	ICD-11コードとの対応概要
11000	消化器系の疾患	11	K00~K92	13	DA00~DE2Z	・肝硬変のその他又は詳細不明コードの分類は要検討
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	11	K25~K27	13	DA60~DA7Z	
11200	ヘルニア及び腸閉塞	11	K40~K46, K56	13	DA91, DA93.0, DB30, DB32.0, DD50~DD5Z	
11300	肝疾患	11	K70~K76	13	DB90~DB9Z	
11301	肝硬変(アルコール性を除く)	11	K74.3~K74.6	13	DB93.1, DB93.2, DB93.Y, DB93.Z	
11302	その他の肝疾患	11	K70~K76の残り	13	DB90~DB9Zの残り	
11400	その他の消化器系の疾患	11	K00~K92の残り	13	DA00~DE2Zの残り	
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	12	L00~L98	14	EA00~EM0Z	
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	13	M00~M99	15	FA00~FC0Z	
14000	腎尿路生殖器系の疾患	14	N00~N98	16	GA00~GC8Z	
14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	14	N00~N15	16	GB40~GB4Z, GB50~GB5Z	
14200	腎不全	14	N17~N19	16	GB60~GB6Z	
14201	急性腎不全	14	N17	16	GB60	
14202	慢性腎臓病	14	N18	16	GB61	
14203	詳細不明の腎不全	14	N19	16	GB6Z	
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	14	N00~N98の残り	16	GA00~GC8Zの残り	
15000	妊娠、分娩及び産後	15	O00~O99	18	JA00~JB6Z	
16000	周産期に発生した病態	16	P00~P96	19	KA00~KD5Z	
16100	妊娠期間及び胎児発育に関する障害	16	P05~P08	19	KA20~KA4Z	
16200	出生外傷	16	P10~P15	19	KA40~KA4Z	
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	16	P20~P29	19	KB20~KB2Z, KB40~KB4Z	
16400	周産期に特異的な感染症	16	P35~P39	19	KA60~KA6Z	
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	16	P50~P61	19	KA80~KA8Z	
16600	その他の周産期に発生した病態	16	P00~P96の残り	19	KA00~KD5Zの残り	
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	17	Q00~Q99	20	LA00~LD9Z	・心臓の構造発達異常のその他又は詳細不明コードの分類は要検討
17100	神経系の先天奇形	17	Q00~Q07	20	LA00~LA0Z	
17200	循環器系の先天奇形	17	Q20~Q28	20	LA80~LA9Z	
17201	心臓の先天奇形	17	Q20~Q24	20	LA80~LA85, LA87~LA8A.2, LA8A.5, LA8A.6, LA8B.0, LA8C.2, LA8C~LA8G, LA8Y, LA8Z	
17202	その他の循環器系の先天奇形	17	Q25~Q28	20	LA86, LA8A.2~LA8B.Z, LA90, LA9Y, LA9Z	
17300	消化器系の先天奇形	17	Q35~Q45	20	LB10~LB1Z	
17400	その他の先天奇形及び変形	17	Q00~Q99の残り	20	LA00~LD0Zの残り, LD90, LD9Y, LD9Z	
17500	染色体異常、他に分類されないもの	17	Q90~Q99	20	LD40~LD7Z	
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18	R00~R99	21	MA00~MH2Y	
18100	老衰	18	R54	21	MG2A	
18200	乳幼児突然死症候群	18	R55	21	MHI1	
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18	R00~R99の残り	21	MA00~MH2Yの残り	
20000	傷病及び死亡の外因	20	V01~Y98	23	PA00~PL2Z	・重症急性呼吸器症候群(SARS)は感染症に移動
20100	不慮の事故	20	V01~X59	23	PA00~PB6Z	
20101	交通事故	20	V01~Y98	23	PA00~PA5Z	
20102	転倒・転落・墜落	20	W00~W17	23	PA60~PA6Z	
20103	不慮の溺死及び溺水	20	W65~W74	23	PA90~PA9Z	
20104	不慮の窒息	20	W75~W84	23	PB00~PB0Z	
20105	煙、火及び火炎への曝露	20	X00~X09	23	PB10~PB1Z	
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	20	X40~X49	23	PB20~PB3Z	
20107	その他の不慮の事故	20	W00~X59の残り	23	PA00~PB6Zの残り	
20200	自殺	20	X60~X84	23	PB80~PB8Z	
20300	他殺	20	X85~Y09	23	PD50~PD7Z	
20400	その他の外因	20	Y10~Y89	23	PF40~PL2Z	
22000	特殊目的用コード	22	U00~U49	25	RA00~RA26	
22100	重症急性呼吸器症候群(SARS)	22	U04	25	1D65	
22200	その他の特殊目的用コード	22	U00~U49の残り	25	RA00~RA26の残り	

※ ICD-10の第19章の損傷、中毒及びその他の外因の影響、第21章の健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用は死因簡単分類の対象外のため、ICD-11も同様に第22章損傷、中毒及びその他の外因の影響、第24章健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用を対象外としている。

<参考資料2 新・死因簡単分類案>

新・死因簡単分類コード	ICD-11分類名(仮訳)	ICD-11章	ICD-11コード	ICD-10章	死因簡単分類コード	新・死因簡単分類への変更概要	
11_01000	感染症又は寄生虫症	1	1A00~1H0Z	1	01000	・細菌性髄膜炎、重症急性呼吸器症候群[SARS]、インフルエンザが追加	
11_01100	胃腸炎または感染性大腸炎	1	1A00~1A40.Z	1	01100		
11_01200	結核	1	1B10~1B1Z	1	01200		
11_01201	呼吸器結核	1	1B10	1	01201		
11_01202	その他の結核	1	1B11~1B1Z	1	01202		
11_01300	細菌性髄膜炎	1	1B53, 1B54, 1D01.00, 1D01.0Y, 1D01.0Z	6	06100		
11_01400	ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	1	1C60~1C6Z.Z	1	01500		
11_01500	重症急性呼吸器症候群[SARS]	1	1D65	22	22100		
11_01600	インフルエンザ	1	1E30~1E3Z	10	10100		
11_01700	ウイルス性肝炎	1	1E50.0~1E5Z	1	01400		
11_01701	B型ウイルス性肝炎	1	1E50.1, 1E51.0	1	01401		
11_01702	C型ウイルス性肝炎	1	1E50.2, 1E51.1	1	01402		
11_01703	その他のウイルス性肝炎	1	1E50~1E5Zの残り	1	01403		
11_01800	敗血症	1	1G40, 1G41	1	01300		
11_01900	その他の感染症及び寄生虫症	1	1A00~1H0Zの残り	1	01600		
11_02000	新生物	2	2A00~2F9Z	2	02000		・新生物の構造が変更。「脳又は中枢神経系の新生物」、「造血組織又はリンパ組織の新生物」→「リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く悪性新生物」や「リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く上皮下内新生物」、「リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く良性新生物」等に分類
11_02100	脳又は中枢神経系の新生物	2	2A00~2A0Z	2	-		
11_02101	脳又は中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	2	2A00.00~2A00.11, 2A00.20, 2A00.21, 2A00.3~2A00.5, 2A01.00, 2A02.00~2A02.12	2	02117		
11_02102	脳又は中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	2	2A00.1Y, 2A00.1Z, 2A00.22, 2A00.2Y, 2A00.2Z, 2A01.0Y, 2A01.0Z, 2A01.1, 2A01.2, 2A02.1Y, 2A02.1Z, 2A02.2, 2A02.3, 2A02.4, 2A0Z	2	02201		
11_02200	造血組織又はリンパ組織の新生物	2	2A20~2B3Z	2	-		
11_02201	悪性リンパ腫	2	2A60.5, 2A80.0~2A81.Z, 2A85.0~2A8Z, 2A90.6~2A90.C, 2B00~2B2Z, 2B30.0~2B30.Z, 2B33.5	2	02118		
11_02202	白血病	2	2A20.0, 2A21.00~2A21.0Z, 2A21.2, 2A40~2A42.Z, 2A44~2A4Z, 2A60.0~2A60.3Z, 2A60.41, 2A60.Y, 2A60.Z, 2A61, 2A70.0~2A7Z, 2A82.00~2A82.Z, 2A90.0~2A90.5, 2B33.0~2B33.4	2	02119		
11_02203	その他の造血組織又はリンパ組織の悪性新生物	2	2A50~2A5Z, 2A83.1~2A83.Z, 2A84.0~2A84.Z, 2B31, 2B33.Y	2	02120		
11_02204	造血組織又はリンパ組織のその他の新生物	2	2A20.1~2A20.Z, 2A21.10~2A21.Y, 2A21.3~2A3Z, 2A43, 2A60.40, 2A60.4Y, 2A60.4Z, 2A83.0, 2B32, 2B3Z	2	02202		
11_02300	リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物	2	2B50~2D3Z	2	-		
11_02301	口唇、口腔または咽頭の悪性新生物	2	2B60~2B6Z	2	02101		
11_02302	食道および食道胃接合部の悪性新生物<腫瘍>	2	2B70, 2B71	2	02102		
11_02303	胃の悪性新生物<腫瘍>	2	2B72	2	02103		
11_02304	結腸の悪性新生物<腫瘍>	2	2B90	2	02104		
11_02305	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	2	2B91, 2B92	2	02105		
11_02306	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	2	2C10	2	02108		
11_02307	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	2	2C12	2	02106		
11_02308	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	2	2C13~2C18	2	02107		
11_02309	喉頭の悪性新生物<腫瘍>	2	2C23	2	02109		
11_02310	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2	2C24~2C25	2	02110		
11_02311	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	2	2C30~2C3Z	2	02111		
11_02312	乳房の悪性新生物<腫瘍>	2	2C60	2	02112		
11_02313	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	2	2C73	2	02114		
11_02314	子宮の悪性新生物<腫瘍>	2	2C76~2C78	2	02113		
11_02315	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	2	2C82	2	02115		
11_02316	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	2	2C94	2	02116		
11_02317	リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物<腫瘍>	2	2B50~2D3Zの残り	2	02121		
11_02400	リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の新生物<腫瘍>	2	2E60~2F9Z	2	02202		
11_03000	血液又は造血器の疾患	3	3A00~3C0Z	3	03000	・貧血のその他又は詳細不明コードの分類は要検討	
11_03100	貧血	3	3A00~3A73, 3A9Y, 3A9Z	3	03100		
11_03200	その他の血液又は造血器の疾患	3	3A91~3C0Z	3	03200		
11_04000	免疫系の疾患	4	4A00~4B4Z	3, 13, 19			
11_05000	内分泌、栄養又は代謝疾患	5	5A00~5D46	4	04000		
11_05100	糖尿病	5	5A10~5A2Y	4	04100		
11_05200	その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	5	5A00~5D46の残り	4	04200		
11_06000	精神、行動又は神経発達障害	6	6A00~6E8Z	5	05000		
11_06100	認知症	6	6D80~6E0Z	5	05100		
11_06200	その他の精神、行動又は神経発達障害	6	6A00~6E8Zの残り	5	05200		
11_07000	睡眠・覚醒障害	7	7A00~7B2Z	4, 5, 6			
11_08000	神経系の疾患	8	8A00~8E7Z	6	06000	・髄膜炎のうち細菌性髄膜炎は第1章へ移動。 ・インフルエンザ菌による髄膜炎(G00.0)は、ICD-11で1章のインフルエンザの分類ではなく、細菌性髄膜炎の分類(1D01.00)にあり。 ・脳内出血、くも膜下出血、脳虚血性脳卒中、その他の脳血管疾患を含む脳血管疾患は神経系の疾患へ移動	
11_08100	パーキンソン病	8	8A00	6	06300		
11_08200	アルツハイマー病	8	8A20	6	06400		
11_08300	脳血管疾患	8	8B00~8B2Z	9	09300		
11_08301	脳内出血	8	8B00, 8B25.1	9	09302		
11_08302	くも膜下出血	8	8B01, 8B25.2	9	09301		
11_08303	脳虚血性脳卒中	8	8B11, 8B25.0	9	09303		
11_08304	その他の脳血管疾患	8	8B00~8B2Zの残り	9	09304		
11_08400	運動ニューロン疾患及び脊髄性筋萎縮症	8	8B60, 8B61	6	06200		
11_08500	感染を除く髄膜炎の障害	8	8E40~8E40.Z	6	06100		
11_08600	その他の神経系の疾患	8	8A00~8E7Zの残り	6	06500		
11_09000	視覚系の疾患	9	9A00~9E1Z	7	07000		
11_10000	耳又は乳様突起の疾患	10	AA00~AC0Z	8	08000		

新・死因简单分類コード	ICD-11分類名(仮訳)	ICD-11章	ICD-11コード	ICD-10章	死因简单分類コード	新・死因简单分類への変更概要
11_11000	循環器系の疾患	11	BA00~BB0Z	9	09000	・ICD-10のI13高血圧性心腎疾患のコードがICD-11で消失 ・慢性リウマチ性心疾患及び慢性非リウマチ性心疾患は心臓弁膜症内に分類。 ・「その他の心疾患」の急性リウマチ熱(I01.-、I02.-)は1章へ移動。 ・心停止の原因はコードしないが、I46心停止がICD-11では第21章へ移動している(MC82)。
11_11100	高血圧性疾患	11	BA00~BA04	9	09100	
11_11101	高血圧性心疾患	11	BA01	9	09101	
11_11102	その他の高血圧性疾患	11	BA00、BA02、BA03、BA04	9	09102	
11_11200	心疾患(高血圧性を除く)	11	BA40~BD1Z	9	09200	
11_11201	急性心筋梗塞	11	BA41~BA42.Z	9	09202	
11_11202	その他の虚血性心疾患	11	BA40、BA43、BA4Z、BA50~BA5Z	9	09203	
11_11203	心臓弁膜症	11	BB60~BC0Z	9	09201、09204	
11_11204	心筋症	11	BC43	9	09205	
11_11205	心不整脈	11	BC60~BC90、BC9Y、BC9Z	9	09206	
11_11206	心不全	11	BD10~BD1Z	9	09207	
11_11207	その他の心疾患	11	BA40~BD1Zの残り	9	09208	
11_11300	大動脈瘤又は解離	11	BD50	9	09400	
11_11400	その他の循環器系の疾患	11	BA00~BB0Zの残り	9	09500	
11_12000	呼吸器系の疾患	12	CA00~CB7Z	10	10000	・インフルエンザ菌による肺炎(J14)は、肺炎の分類(CA40.02)であり変更なし。
11_12100	慢性閉塞性肺疾患	12	CA22	10	10400	
11_12200	喘息	12	CA23	10	10500	
11_12300	肺炎	12	CA40	10	10200	
11_12400	急性気管支炎	12	CA42	10	10300	
11_12600	その他の呼吸器系の疾患	12	CA00~CB7Zの残り	10	10600	
11_12601	顕性肺炎	12	CA71	10	10601	
11_12602	間質性肺疾患	12	CB03、CB04.31、CB05.0、CB06	10	10602	
11_12603	その他の呼吸器系の疾患(10601及び10602を除く)	12	CA00~CB7Zの残り(CA71、CB03、CB04.31、CB05.0、CB06を除く)	10	10603	
11_13000	消化器系の疾患	13	DA00~DE2Z	11	11000	・肝硬変のその他又は詳細不明コードの分類は要検討
11_13100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	13	DA60~DA7Z	11	11100	
11_13200	肝疾患	13	DB90~DB9Z	11	11300	
11_13201	肝硬変(アルコール性を除く)	13	DB93.1、DB93.2、DB93.Y、DB93.Z	11	11301	
11_13202	その他の肝疾患	13	DB90~DB9Zの残り	11	11302	
11_13300	ヘルニア及び腸閉塞	13	DA91、DA93.0、DB30、DB32.0、DD50~DD5Z	11	11200	
11_13400	その他の消化器系の疾患	13	DA00~DE2Zの残り	11	11400	
11_14000	皮膚の疾患	14	EA00~EM0Z	12	12000	
11_15000	筋骨格系又は結合組織の疾患	15	FA00~FC0Z	13	13000	
11_16000	腎尿路生殖器系の疾患	16	GA00~GC8Z	14	14000	
11_16100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	16	GB40~GB4Z、GB50~GB5Z	14	14100	
11_16200	腎不全	16	GB60~GB6Z	14	14200	
11_16201	急性腎不全	16	GB60	14	14201	
11_16202	慢性腎臓病	16	GB61	14	14202	
11_16203	詳細不明の腎不全	16	GB6Z	14	14203	
11_16300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	16	GA00~GC8Zの残り	14	14300	
11_17000	性保健健康関連の病態	17	HA00~HA8Z	5、14		
11_18000	妊娠、分娩又は産褥	18	JA00~JB6Z	15	15000	
11_19000	周産期に発生した病態	19	KA00~KD5Z	16	16000	
11_19100	妊娠期間または胎児の成長に関連する新生児の障害	19	KA20~KA2Z	16	16100	
11_19200	出生時の怪我	19	KA40~KA4Z	16	16200	
11_19300	胎児または新生児の感染症	19	KA60~KA6Z	16	16400	
11_19400	胎児または新生児の出血性または血液学的障害	19	KA80~KA8Z	16	16500	
11_19500	周産期又は新生児期に特有の呼吸器疾患及び心血管障害	19	KB20~KB2Z、KB40~KB4Z	16	16300	
11_19600	その他の周産期に発生した病態	19	KA00~KD5Zの残り	16	16600	
11_20000	発達異常	20	LA00~LD9Z	17	17000	・心臓の構造発達異常のその他又は詳細不明コードの分類は要検討
11_20100	神経系の構造発達異常	20	LA00~LA0Z	17	17100	
11_20200	循環器系の構造的発達異常	20	LA80~LA9Z	17	17200	
11_20201	心臓の構造発達異常	20	LA80~LA85、LA87~LA8A.2、LA8A.5、LA8A.6、LA8B.0、LA8B.0、LA8C.2、LA8C~LA8G、LA8Y、LA8Z	17	17201	
11_20202	その他の循環器系の構造的発達異常	20	LA86、LA8A.2~LA8B.Z、LA90、LA9Y、LA9Z	17	17202	
11_20300	消化管の構造的発達異常	20	LB10~LB1Z	17	17300	
11_20400	その他の発達異常	20	LA00~LD0Zの残り、LD90、LD9Y、LD9Z	17	17400	
11_20500	遺伝子変異を除く染色体異常	20	LD40~LD7Z	17	17500	
11_21000	症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	21	MA00~MH2Y	18	18000	
11_21100	老衰	21	MG2A	18	18100	
11_21200	乳幼児突然死症候群	21	MH11	18	18200	
11_21300	その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	21	MA00~MH2Yの残り	18	18300	
11_23000	傷病又は死亡の外因	23	PA00~PL2Z	20	20000	
11_23100	不慮の事故	23	PA00~PB6Z	20	20100	
11_23101	交通事故	23	PA00~PA5Z	20	20101	
11_23102	転倒・転落・墜落	23	PA60~PA6Z	20	20102	
11_23103	不慮の溺死及び溺水	23	PA90~PA9Z	20	20103	
11_23104	不慮の窒息	23	PB00~PB0Z	20	20104	
11_23105	不慮の熱への曝露	23	PB10~PB1Z	20	20105	
11_23106	不慮の有害物質へ曝露	23	PB20~PB36	20	20106	
11_23107	その他の不慮の事故	23	PA00~PB6Zの残り	20	20107	
11_23200	故意の自傷及び自殺	23	PB80~PD3Z	20	20200	
11_23300	加害にもとづく傷害及び死亡	23	PD50~PF2Z	20	20300	
11_23400	その他の外因	23	PF40~PL2Z	20	20400	
11_25000	特殊目的用コード	25	RA00~RA26	22	22000	
11_25100	COVID-19関連病態	25	RA01~RA03	-		・COVID-19関連病態を追加
11_25200	その他の特殊目的用コード	25	RA00~RA26の残り	22	22200	

※ ICD-10の第19章の損傷、中毒及びその他の外因の影響、第21章の健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用は死因简单分類の対象外のため、
 ※ ICD-11の第26章伝統医学の病態・モジュール I、第V章生活機能評価に関する補助セクション、第X章エクステンションコードは、対象外としている。